



浮間↔赤羽駅 国際興業バス 赤06系統

北区が今年7月末で運行支援を打ち切り

バス路線休止に



区議会建設委員会 のの山区議が追及

1日に開かれた区議会建設委員会では、浮間地域における唯一のバス路線である国際興業バス赤06系統について、区がこの7月末で運行支援を打ち切るため、バス路線自体が休止に追い込まれることが明らかにされました。(のの山けん)

3年前、突然の減便によって午後2時台以降の便がなくなってしまった赤06系統。多くの利用者から増便の要望が殺到したことから、区は運行赤字分の半分を補てんすること

で、国際興業に増便を求めました。

こうした中、14年8月から最終午後4時台までの増便と、東京北医療センターまでの延伸が実現。2年間の実証運行が始まり、利用者からは大きな歓迎の声が寄せられました。

ところが、実証運行の終了まで半年を残し、区は新年度予算案で、わずか880万円の運行支援予算を打ち切ることを決定。建設委員会では私の質問で、8月以降は国際興業が赤06系統そのものを休止にする予定であることが明らかにになりました。さらに、私が「この便がなくなったらどれ

赤06系統をめぐる経緯

- 2013年3月
国際興業が赤06系統を大幅に減便。
- 2014年8月～2016年7月
区の支援で、増便・東京北医療センターへの延伸の実証運行を実施。
- 2016年8月
支援打ち切りとともに、赤06系統の休止へ

くらいの利用者に影響が及ぶと認識しているか」「休止にあたって代替案を検討しているのか」と聞いても、区の担当者は「採算がとれず、実証運行は終了する」と繰り返すのみ。

バス路線が失われることの影響について何ら調査もせず、対策も検討していない実態が明らかにになりました。区民の足を奪う支援打ち切りは、今からでも見直すべきです。



赤羽東公園

遊具撤去へ

1日の建設委員会では、新規事業として、老朽化した赤羽東公園(赤羽1丁目三角公園)の遊具(写真)を撤去し、新しい遊具にとり換える計画が示されました。

